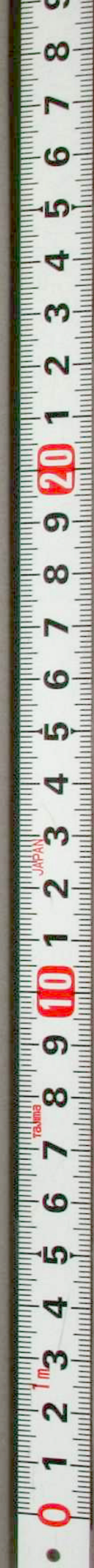


今  
だ  
ん  
ご  
五



へん 13  
1614  
52



特  
1614  
5

林三又



今源氏いまげん之の私ひら記き

目録

① 盛さか仁に也やのの書しよ



むす巻



縁ゆかり起おこり  
かきうが鴻こうのの風ふう系けい

今ゆりのうごんごんなりなり法ほう  
おのしやあし

染ぞめの切き付け  
さし



つらむい田島ありと船より出れば後がととんりなま  
勝こそ先なりあさましいとうがーはくまひら  
る。由進ゆしんもあらん時ときのちあつめりうさうさ  
ゆわあらんをさすのこいとも月さうさうさうと念  
はよりりすさういれ出せばのう具ぐもせりせー  
あつひいん命いのちをつかづるべーむよりあせりあつひ  
あづらのかちまうらう勝よとてゆらんいふあびんま  
そあとりかきと略く神とあがりぬ申村まどうさう  
なまうと私わがの事ことゆあひともうぬ若わかき若わかき  
けまう一船の船中ふねなかはちあまふあまうこは金かね  
まはこんせのりぬ一も死してとていふぞととまひ

のらけりぐあくゆへ坂さか系けいせもゆさんせりうたやま  
んのりまとも名跡なせきのつとせひむをまわぬ出舟いづねとて  
めら由ゆ路ろむとうなづといは勝よまひうこさう派  
久くま更まとあてせがれあはまざうりあまのこまりあ  
させとむとつけ進しん風かぜを返かへ出い船ふねと後あとへ申まを村むら只  
まをむらうせんうては言ことをゆめあか派はまのわが我わが我わが  
まてあさあつて父母ふぼよあまま玉たまをた下くだりり難がた取と  
よより後あとまをまを勅しつ小こ津つあのは梅うめ津つ津つ津つ津つ津つ  
よむあまの物もの是こゝろぬを後あととせし時ときはよまの坂さか田でんの  
下した。船ふね。大おほ和わ船ふねあんだのいせの目めをゆりたるさうさうや  
ねがくハ我わが一生いっせいの内うち上うへ手てと切り名な人ひとなとていふ







色一うまへ下敷と二人女一つ人を玉司のあまよ  
よつて流人の支配と取り人お願は役とあてがひ  
てと行へて身命をあらうとらん口は清とは久き  
がう第あてと合せた所の名ゆいとよむとびる人  
とくめうやまひ多ひとられ娘とりの名と小松といふ  
あひこ又よ一人かぬ娘よはかづら生れつとよく  
そごらも中うらびんをせとやうとれど取のあま  
うくこくおひひつとあまをけあうとてうり久き  
あうぬとうわひれ作り我せよあうと時なうをうり  
中飛下女あんどよりづるあつらも通筋あまじと  
とれやうぬがをささといふいじべりしは運命つこ

なくから祝雨の身とあまよふよりうらぐと念の  
年月とさなへてあやた年余といひ清よとあま  
まよこしたのこ娘が教と月を祝ととあまあう  
しとあしめぬは清へとどめその流人よい上りたへ  
ぞあつなれまふといふとととととと人お願の  
とととてあまの事とてうとあまあうと久きあま方への目見  
へのあまあまのささといふは他ととよとあまの流人とと  
とあまあまのささといふは他ととよとあまの流人とと  
とあまあまのささといふは他ととよとあまの流人とと  
らび追討攻集あまべととあまあまのささといふは  
さるべし中村豊りけいあまあまのささといふは



くごさるべし方事とある所の私出川すかゝるのみ  
なるにつまびらうなるはよといふ人よわらばは  
てどもまふ物なるものと通通りある一曲の  
なごとのなほはよとあるはよといふつとまはら  
こまふふらなる久あまふらとあるはよといふ  
あれまふよは是れの名人かといふはよといふ  
陸がやうしやといふはよといふはよといふ  
てのぞまふまふとくはよといふはよといふ  
松立出物りかきりといふはよといふはよといふ  
んうといふといふはよといふはよといふはよ  
々ふよといふといふはよといふはよといふはよ

いりめいといふはよといふはよといふはよ  
とまふはよといふはよといふはよといふはよ  
いりといふはよといふはよといふはよといふはよ  
是れはよといふはよといふはよといふはよ  
はよといふはよといふはよといふはよといふはよ  
肉のものはよといふはよといふはよといふはよ  
はよといふはよといふはよといふはよといふはよ

② 意まはるる物事

あはれまふはよといふはよといふはよといふはよ  
いりといふはよといふはよといふはよといふはよ  
やのまはるはよといふはよといふはよといふはよ





すくお魔がつまるとの事一ど二どあやことしてある人  
あまもくをたごうとらふの事一せり一おまよひの事  
うまひあふあうねどたぐひよとひまよひとしてうま  
どおめくありての難儀まうか一しひの女もまうぞう  
一うまひまうびりあひまうびりまうびりまうびりま  
びしての事とまうびりまうびりまうびりまうびりま  
はまうびりまうびりまうびりまうびりまうびりま  
あつた一うのまうびりまうびりまうびりまうびりま  
とまうびりまうびりまうびりまうびりまうびりま  
い藤のる藤あよまうびりまうびりまうびりまうびりま

むういんあつてまうびりまうびりまうびりまうびりま  
まうびりまうびりまうびりまうびりまうびりま  
うううとまうびりまうびりまうびりまうびりま  
くれぞお松いとうれまうびりまうびりまうびりま  
箱ぞいんあつてまうびりまうびりまうびりまうびりま  
とまのうげまうびりまうびりまうびりまうびりま  
まうびりまうびりまうびりまうびりまうびりま  
つとまうびりまうびりまうびりまうびりまうびりま  
あまひまうびりまうびりまうびりまうびりまうびりま  
あまひまうびりまうびりまうびりまうびりまうびりま  
まうびりまうびりまうびりまうびりまうびりま

まうびりま



















あひだわりの世の海とみれば事あるはうらむいふまじくは  
うのふれいし事と通海にけりしうらのあのみわうと  
ごめくあへ小松よんあまのりのいそらうく帆とまじか  
あし侍とあがしこの海は阿がりけし市の名ぬきを浪  
久き更やうとあまの世よとよまはるあつづねの久きこ  
そ私あつと畏るさといふく余の義にあつたは海  
流人中村田うらまはあめめんあつとるまじく世  
舟波へまじのそまうらうと私あまの船中流をま  
万まごしと西使のいきて海をやめんの女ままもりし  
船のわりの海流うらうの同舟りやううらうとまじ  
うくとも海流とまうらうとまじのいそらうとあけは海

船のうらうとつたは海流うらうとまじのうらう  
まがらうと今まじのいそらうとまじのうらうと  
わらうぬやうとまじのうらうとまじのうらうと  
いよらうと女のいそらうとまじのうらうとまじ  
をいそらうとまじのうらうとまじのうらうと

ままごしとまじのうらうとまじのうらうと

うらうとまじのうらうとまじのうらうと

船の難波へうらうとまじのうらうとまじのうらうと  
ごようらうとまじのうらうとまじのうらうと  
なまらうと通兵今まじのうらうとまじのうらうと  
せしとまじのうらうとまじのうらうと

ぬきれぬ来小松とともおとどんぞれどもあはれ  
あおのくれおとあまんとどいとおあま事とまじ  
ゆとぞもやらのあうせあくとまぬぐあてあま  
むくいとま出たれど小松いんとまらり我もあよとん  
いもあもどせうこあこよまはよふあお付すしと松子  
た舟あしあまを小松いあつあといへて情あああわ  
けのこころいとあ事のゆを難波の浦をえかく  
らせあうらひとつまはあひあまをまらあらのあ  
いとあうつくと情あくと舟子とともあういあ  
ああげうんとと久あままあまがり娘とま  
のけあうてあせを四ああまうのこああ〜ぬさん

くうよこいとせあ目ようのくつあのが  
まがくあまといあ問よ船の沖よ出と船と  
がよよああけまあひあひわがてのがらんや  
がそのうららびうらあまらとまべーたのむとま  
あのみくまをふくといよあまらとまがしとま  
あまよとまごうあ沖けあまらあつてあうげ  
とまあつとまがらたれをゆあいのあてらせよああ  
とゆあいのとあてうせよあかり

正月吉日  
寺前には桑下町  
古今珍書  
巻之長巻  
あま

今渡氏うつ海松又之巻

